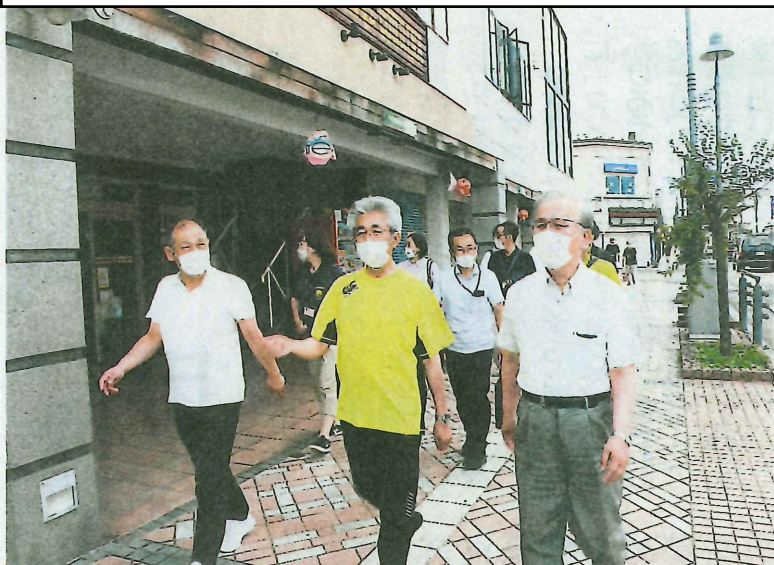


「健康都市」実現へ新組織



商店街を歩きながらアイデアを出し合う桜田市長（手前中央）、中路学長特別補佐（同右）ら参加者

弘前市と弘大

弘前市は17日、弘前大学と共同で新組織「まちかつ弘前。C」を設立した。「QOL健診（啓発型健診）」をはじめ、市民の健康寿命を延ばす取り組みの考案と普及を目指し、意見交換や情報共有を行う。

同組織は市、弘前大、市民の三者が協力し、健康的な生活にチェンジ（Change）したり、運動にチャレンジ（Challenge）したりするチャンス（Chance）を提供するのがコンセプト。2カ月

に1回程度、市と弘大の担当者がアイデアを出し合い、市民を加えた取り組みへと発展させる。

市まちなか情報センターで開かれた設立セレモニーでは、桜田宏市長が「健康都市弘前の実現に向け、連携をさらに強化する」「弘大の中路重之学長特別補佐が「全国から注目される活動にしたい」と述べた。

約15人の参加者が同市土手町の商店街をウォーキングし、QOL健診の拠点とする予定の旧弘前市立病院などを見学。「商店街に歩幅が分かる舗装をすれば、歩くのが楽しくなりそう」「最新の健診を受けられる場所をつくりたい」などと話し合った。（赤田和俊）